

132回 簿記3級第2問 類似問題

静岡商店における、8月中の当座預金出納帳（残高欄は各自計算）の記入は下記のとおりである。  
この記入にもとづいて、答案用紙の各日付の仕訳を示しなさい。ただし、同店は借越限度額を¥100,000とする当座借越契約を取引銀行と結んでいる。なお、使用する勘定科目は、次の中から適当と思われるものを選ぶこと。

現金                      当座預金                      受取手形                      売掛金                      支払手形  
買掛金                      当座借越                      給料                      広告宣伝費                      手形売却損

当座預金出納帳

平成30年		摘要	預入	引出	借または貸	残高
8	1	前月繰越	150,000		借	150,000
	5	浜松商店 掛代金支払い		60,000	〃	
	10	約束手形（額面金額¥160,000）割引	159,500		〃	
	12	現金引出し		90,000	〃	
	15	従業員給料支払い		160,000	貸	
	20	磐田商店 掛代金回収	120,000		借	
	26	新聞広告料支払い		50,000	〃	
	30	約束手形代金の引落し		45,000	〃	
	31	次月繰越		24,500		
			429,500	429,500		

解答欄（10点 各2点×5）

取引日		仕 訳			
月	日	借方科目	金額	貸方科目	金額
8	10				
	12				
	20				
	26				
	30				

解答欄 (10点 各2点×5)

取引日		仕 訳			
月	日	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
8	10	当座預金 手形売却損	159,500 500	受取手形	160,000
	12	現金	90,000	当座預金	90,000
	20	当座預金 当座借越	119,500 500	売掛金	120,000
	26	広告宣伝費	50,000	当座預金	50,000
	30	支払手形	45,000	当座預金	45,000

当座預金出納帳は「当座預金」の増減取引の詳細を記します。仕訳には必ず借方か貸方に「当座預金」が登場します。預入欄に金額が載っていれば、当座預金に預け入れたという事なので、仕訳の借方が「当座預金」になります。引出欄に金額が載っていれば、当座預金からの引出しという事なので、仕訳の貸方が「当座預金」となります。

この問題では仕訳に使用する勘定科目の指定がありますが、「当座借越」勘定があることから「二勘定制」をとっていることが分かります。

12日の取引後、残高は159,500円となっています。その後15日に給料支払いで160,000円の引出しを行います。残高を超えた引出しになるので銀行からの当座借越契約にもとづき、自動的に足りない資金500円を借りることとなります。当座預金に振り込みがあったら、銀行への借金を優先的に行います。銀行への借金を返済後、当座預金の増加とすることが出来ます。

平成 30年		摘 要	預入	引出	借または貸	残 高
8	1	前月繰越	150,000		借	150,000
	5	浜松商店 掛代金支払い		60,000	〃	90,000
	10	約束手形(額面金額¥160,000)割引	159,500		〃	249,500
	12	現金引出し		90,000	〃	159,500
	15	従業員給料支払い		160,000	貸	500
	20	磐田商店 掛代金回収	120,000		借	119,500
	26	新聞広告料支払い		50,000	〃	69,500
	30	約束手形代金の引落し		45,000	〃	24,500
	31	次月繰越		24,500		
			429,500	429,500		